

# ALSHARD SAVIOR RPG

お姫様はクエスター

## プリンセスアクションモード

ロゼッタ姫は、ロマンシャン王国の第一王位継承者……つまりお姫様。  
芙蓉のかんはせ、くるくる巻き毛、金髪碧眼の16歳。  
まだまだ新米だけれど、やる気はじゅうぶん。  
キミたちの手で、ロゼッタ姫を一人前のクエスターに育てよう！



このシナリオはアルバガルドが私的に製作、頒布しているものです。『アルシャードセイヴァーRPG』は有限会社ファイアー・スト・アミューズメント・リサーチの著作物です。イラスト提供：ジュエルセイバーフリー <http://www.jewel-s.jp/>

## プリンセスルール

★シナリオ中、プリンセスロールを行うよう指示された場合、任意のプレイヤーは1Dを振る。その値に現在のプリンセスランクを足し、該当するプリンセスアクションチャートを参照する。プリンセスロールを行う度に、プリンセスランクは1上昇する。

★初期のプリンセスランクは0であり、最大プリンセスランクは15である。シナリオ終了時のプリンセスランクが【クエスト：ロゼッタ姫の冒険を成功させる】の経験点となる。

★プリンセスロールは、次のいずれかの状況で行われる。

★プリンセスアクションの結果は、PCがもっている加護ひとつを使用済にすることで、キャンセルできる。

- ・登場しているPCあるいはGMがクリティカルを出した場合（加護の効果も含む）。
- ・PCがメジャーアクションを使い、プリンセスロールを行うことを選択した場合。
- ・GMにプリンセスロールを行うよう、指示された場合！

★プリンセスアクションチャートは、低い数字では状況を悪化させるハブニングばかりだが、高い数字ではPCの行動を助ける効果を発揮する。

★戦闘またはFS判定ではないシーンは、1ラウンドのみです。

つまり、失敗ばかりのロゼッタ姫も、経験を積みませれば、どんどん成長していくのだ！

## プリンセスランク Princess Rank

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	MAX	15
ひよっこ			かけだし			半熟クエスター			一人前！			ベテランの域			

英雄の誕生！

## プリンセスアクションチャート

ダイス目 解説

**1** 「さあ、覚悟しなさい怪物たち。これがわたくしの英雄譚の第一歩です……！」  
さあ、冒険のはじまりだ。キミたちの視界の片隅で、ロゼッタ姫は勇み足で敵に挑み、足を滑らし、死んだ。あつという間の出来事だった。  
この事態を回避するために、PCがもっている加護から任意にひとつを選び、使用済のチェックを入れる。

**2** 「敵です！ 敵ですよね……」と叫ぶのは、まず、ええと、装弾、装弾……  
ロゼッタ姫はチャンバースタッフに魔法弾を装填……しようとして、手がずれた。  
その弾倉からこぼれ落ちた大量の魔法弾がころころと転がり、キミたちの足元で爆発した。  
ブレイクしていないPCからランダムにひとりを選択する。そのPCの【HP】が即座に0になる。

**3** 「げちゃこん……？」  
ロゼッタ姫のチャンバースタッフが弾まりを起こし、暴走した魔力が室内に吹き荒れる。  
このラウンド中、PC全員のあらゆる防御修正が0になる。

**4** 「母なるガイアよ、彼の者の肉体を癒し給え……《ヒール》！」  
ロゼッタ姫のチャンバースタッフの先端から、癒しの光がこぼれでる。  
その輝きに包み込まれたクリチャーは、なんだかとても気持ちよさそうだ。  
ラウンド中に行う、すべてのPCの判定の達成値を-2する。

**5** 「えいやっ！ こいつめ、こいつめっ！」  
ロゼッタ姫は、なかなか奮闘している！  
ラウンド中に行うすべてのPCの判定の達成値を+2する。

**6** 「いきまよー、《ソウルハンマー》！ わわわ……！」  
轟音に気づいてキミたちは頭をもたげる。  
洋館の天上が崩壊し、魔力の石壁が響いかった。  
シーンに登場しているすべてのキャラクターは、〈酸〉10+2Dのダメージを受ける。

**7** 「こないでー、こないでください〜！」  
ロゼッタ姫が、クリチャーに追われている。  
あ、つんのめってこけた。やれやれ……。  
ランダムに選ばれた未行動のPC1人が行動済となる。

**8** 「《ファイアアロー》！ あわわ……！？」  
ランダムに選ばれたPC1人と敵1体は、〈炎〉10+2Dのダメージを受ける。  
町はずれの洋館から、七瀬市のどこからでも見える巨大な火柱があがる。  
空を見上げた灰原古瀬は、心配そうにため息をついた。

**9** 「こんな時のために御祖父様に賜ったマジックアイテムが……！」  
室内の大気の振動を止め、呪文詠唱を禁じる結界が発動……味方全体を包み込む。  
役目を終えた宝玉にひしりひしりとヒビが入り、砕け散った。こうしてロマンシャン王家の家宝は露と消える。  
このラウンド中、PC全員は「種別：魔」のあらゆる特技を使用することができない。

**10** 「……ここはでこでしよう」  
ロゼッタ姫が迷子になってしまう。探しに行かなくては、ランダムに選ばれたPC1人は、即座にシーンから退場する。  
シーンプレイヤーが退場した場合は、以降このシーンはマスターシーンとして扱われる。  
このシーンに再度登場したい場合は、セットアッププロセスに登場判定をすること。その難易度は8である。

ダイス目 解説

**11** 「……あら？」  
ロゼッタ姫の《ノック》が、防具の留め金を外す。  
PC全員は防具及び衣料品を、所持品に戻し、同時に脱衣に対するリアクションをロールプレイすること。  
マイナーアクションを使用することで再度、装備することができる。

**12** 「わたくしは、だめな子なれでしようか……しょんぼり」  
失敗続きのロゼッタ姫が、しょんぼりしてしまう。  
PC全員は、駆け出し時代の恥ずかしい思い出を告白し、新米クエスターを慰める。  
プレイヤーのリアルな思い出でもかまわない。ロールプレイが終了後、プリンセスランクを追加で1上昇させる。

**13** 「札束でほっぺを叩くって、快感ですよわ♪」  
この世には持つ者と持たざる者がいる。  
お金の上手な使い方も、クエスターの大切なノウハウだ……そして無垢な少女は、資本主義の暗黒面に覚醒める。  
財産ポイント10点を、PCで自由に分配する。

**14** 「きゃああああああああ！？」  
転んだロゼッタ姫が、ランダムに選ばれたPC1人に倒れこんでくる！  
なんとというお約束！ これがシナリオヒロインの真実なのか。  
プレイヤーはどっきりハブニングを、ロールプレイすること。その後、そのPCは【MP】を1D点回復する。

**15** 『くれぐれもご無理をなさらぬよう、ご愛顧ください……』  
灰原古瀬が持たせてくれたランチボックスを開くと、中に手紙と特製フォーチュンクッキーが入っていた。  
どうやら差し入れらしい。なんて気の利く少年なんだ……。  
PCのもつ1ラウンドに一度しか使用できない特技、装備をひとつ選ぶ。シナリオ中、その制限を無視して追加で一度使用できる。

**16** 「美しさは罪……」  
陶器人形を彷彿させる芙蓉のかんはせ、細長いまつげ、くるりとカールしたブロード。  
彼女の《天上の美》は、すべての国民を魅了させた。  
このラウンド中、PC全員のすべての判定の達成値を+3する。

**17** 「聞こえます。ガイアの声が……」  
少女の心を、《運命の予感》が震わせた。  
ロゼッタ姫はガイアのアバターの声を聞き、レジェンドとして覚醒する。  
GMに対して、疑問点をひとつ、直接尋ねることができる。

**18** 「決着をつけるため、皆さんの力を貸してください」  
PC全員の【HP】と【MP】を3D+20点回復する。

**19** 「美しいブルースフィアを守りたい。その気持ちは本物なれです」  
戦闘中の場合、即座に敵全員に、バッドステータス：放心を与える。  
戦闘中でないならば、次の戦闘の第1ラウンド開始と同時に、効果を適用する。

**20** 「蒼き星にまた奇跡が生まれる……これが、救世主のか……！」  
今回予告を引用したセリフ、そして決めポーズ。バックでボカール入りのオープニングテーマが流れ始める。  
クワイマックスフェイズの敵1体が、消え去る。  
対象はGMが選択する。ただし、敵がアビソリアンセのみの場合はこの効果を適用せず、代わりに【HP】を5D減少させる。